

東海経済レポート(2021年9月)

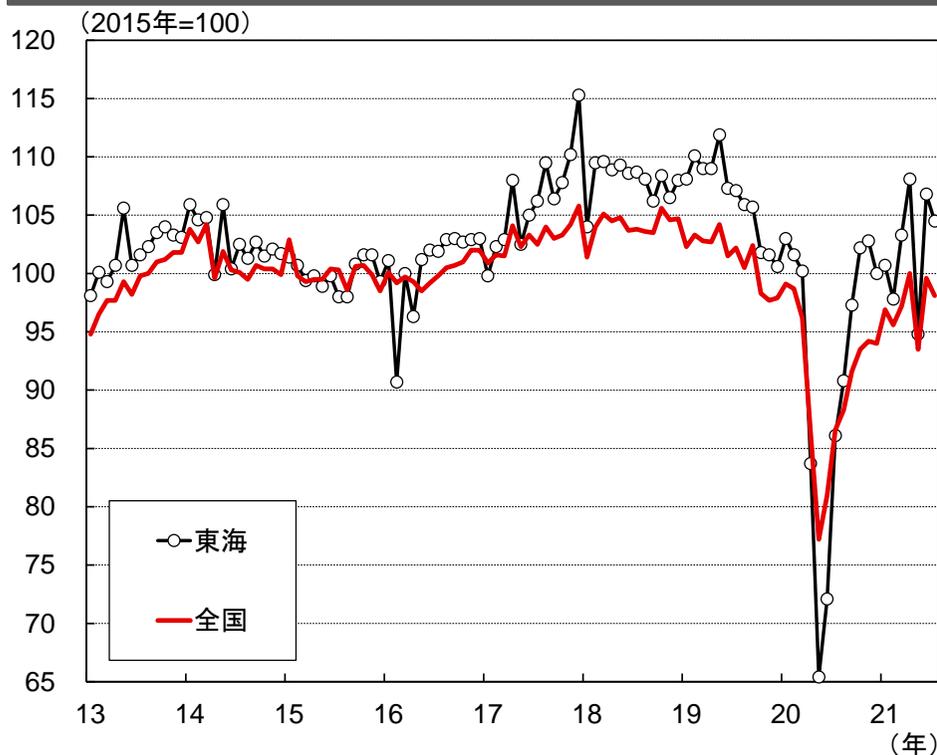
2021年9月17日

三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室(名古屋)

概況・生産

- 東海経済は緩やかな持ち直しの動きに一服感がみられる。東海3県(愛知、岐阜、三重)での緊急事態宣言による移動制限や巣ごもり特需の一巡で個人消費が足踏みしているほか、半導体不足に加え東南アジアからの部品調達停滞の影響で大手自動車メーカーなどが減産を余儀なくされている。
- 足元で新規感染者数は減少基調にあり、この先、制限措置の段階的緩和による個人消費の持ち直し、部品供給不足の改善による自動車を中心とした生産の回復により、景気は総じて安定を取り戻していく展開を予想。
- 7月の鉱工業生産指数(速報)は前月比▲2.2%と2ヵ月ぶりに低下したが、水準は104.5とコロナ禍直前の2020年2月(101.6)を上回った。業種別にみると、生産用機械が同+2.7%、電子部品・デバイスが同+9.9%とそれぞれ上昇した一方、当地域主力の輸送機械が同▲3.1%、電気機械が同▲4.6%とそれぞれ減少した。

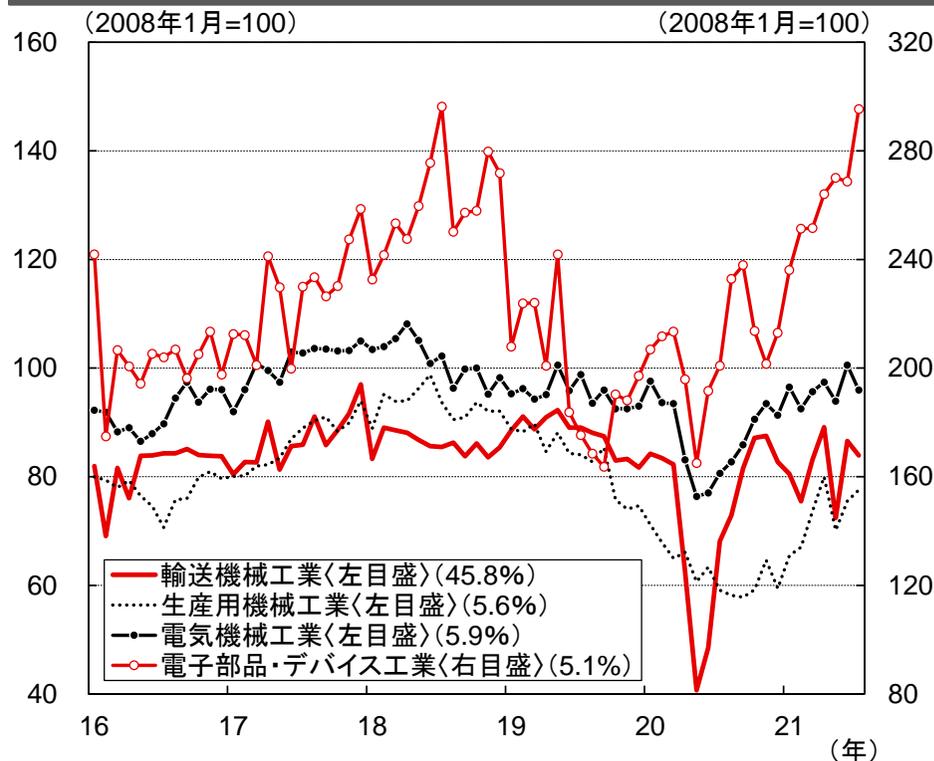
鉱工業生産指数



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。

(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

業種別の鉱工業生産指数(東海)



(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。

2. ()内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成27年基準。中部経済産業局算出)

(資料)中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

景況感・輸出

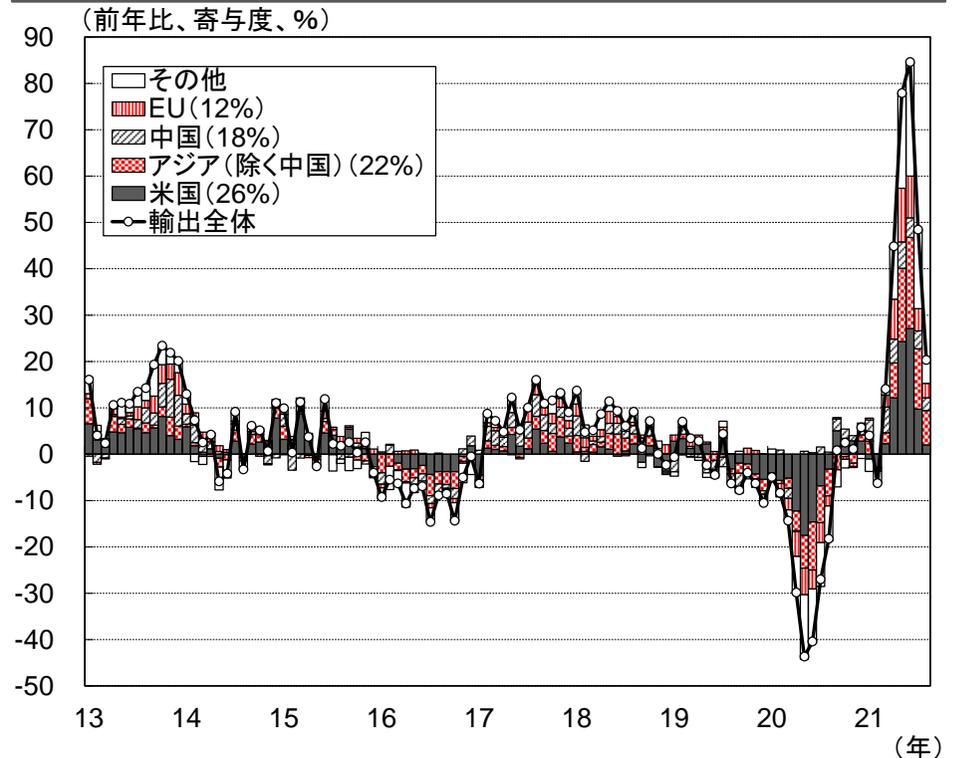
- 8月の景気ウォッチャー調査の現状判断DIは、34.7(前月比▲15.7ポイント)と3か月ぶりに低下。東海3県でも8月27日から緊急事態宣言が発令されるなど、新型コロナウイルス感染症の再拡大が影響した。
- 8月の輸出額(円ベース)は、前年がコロナ禍の影響で大幅に減少していた反動もあり前年比+20.3%と大幅に増加、金額は1.4兆円とコロナ禍前の2019年同月と略同水準。地域別では、米国向け(同+7.5%)、EU向け(同+24.7%)、中国向け(同+14.3%)など主要国向けがいずれも増加。品目別では、自動車部品や工作機械、電気機器がいずれも同+20%以上の増加に対して、自動車は同+0.6%と略同水準に止まった。

景気ウォッチャー調査(現状判断DI)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。
(資料)内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

輸出額(東海)

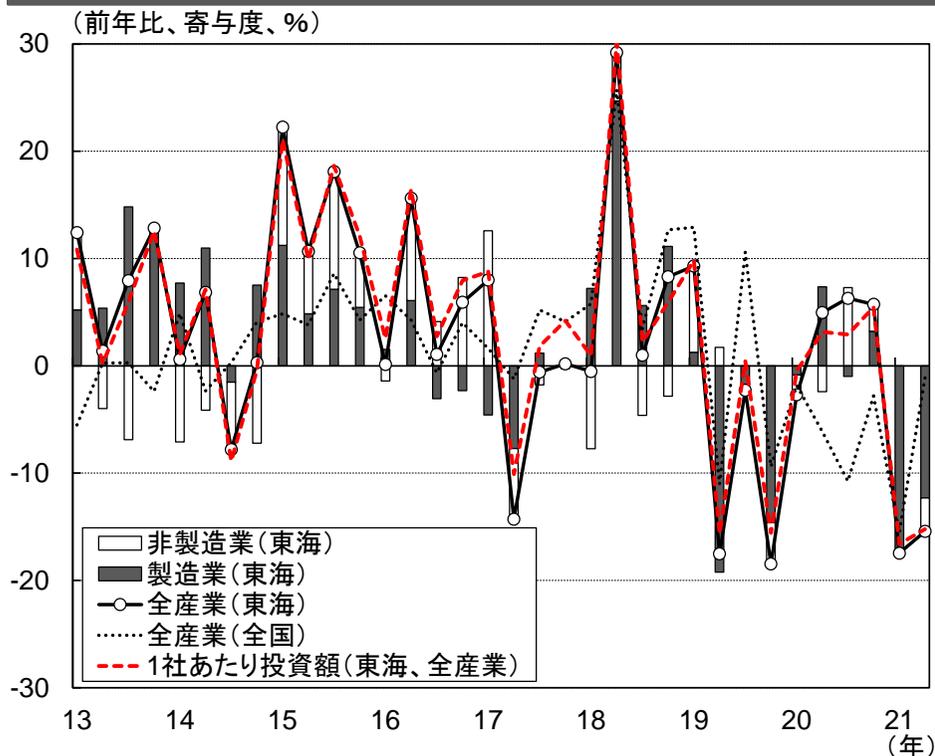


(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。
2. ()内の数値は2020年輸出総額に占めるシェア。
3. EUの増減率は加盟国の増減を踏まえて算出。
(資料)名古屋税関統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

設備投資・機械受注

- 4-6月期の大企業の設備投資は前年比▲15.4%と2四半期連続で減少。製造業が連続して大きく減少したほか、非製造業も減少幅を拡大させた。
- 8月の全国の工作機械受注額は前年比+86.2%の1,265億円と、10ヵ月連続でプラス。このうち、外需は同+78.9%と10ヵ月連続で増加、内需は同+100.4%と6ヵ月連続で増加。

大企業の設備投資



(注) 1. 『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。
 2. 資本金10億円以上の企業を対象。
 3. 設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。
 4. 1社あたり投資額は設備投資額合計を回答法人数で除して算出
 (資料) 東海財務局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

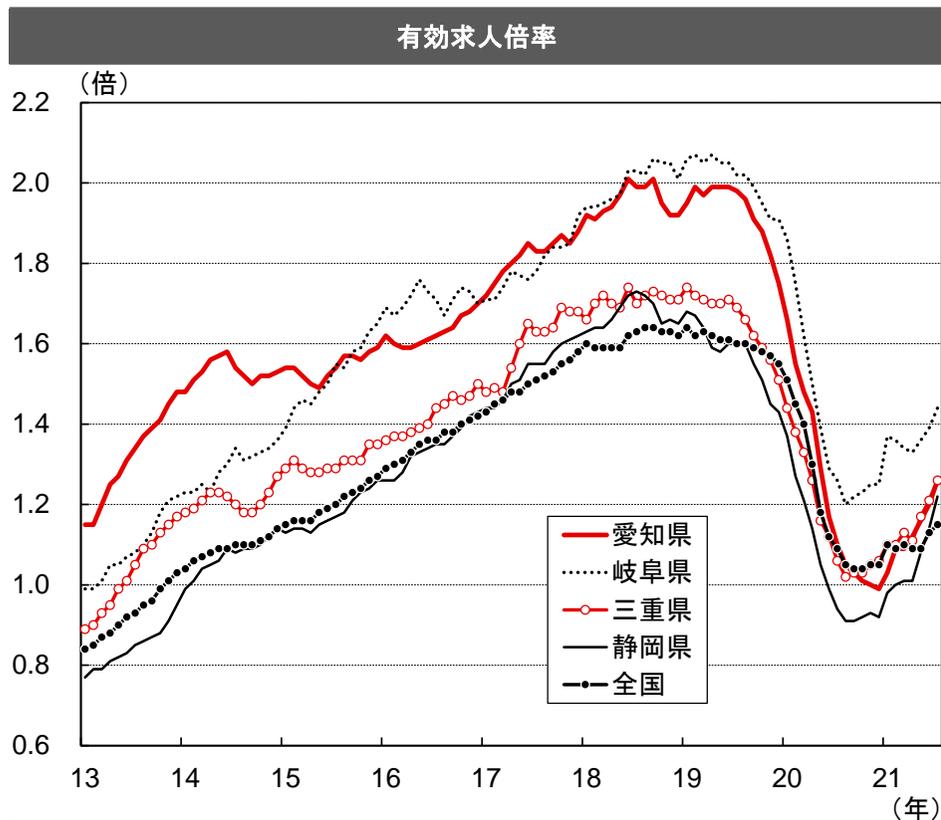
工作機械受注額(全国)



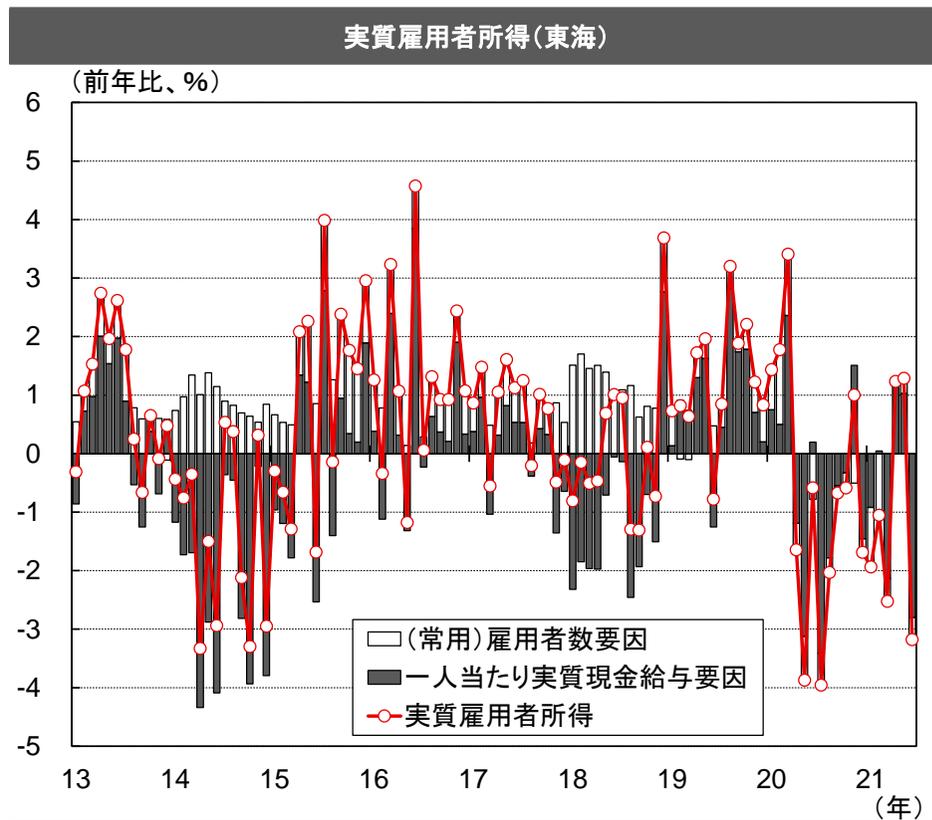
(資料) 日本工作機械工業会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

雇用・所得

- 7月の有効求人倍率は東海4県でいずれも上昇。雇用市場のウエイトの大きい愛知県の水準(1.26倍)は全国(1.15倍)を4か月連続で上回った。
- 6月の実質雇用者所得(3県合算)は前年比▲3.2%と3か月ぶりに減少。雇用者数の減少は限定的だが、パートタイム労働者比率の上昇による一人当たり賃金の低下が影響した。



(資料)厚生労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

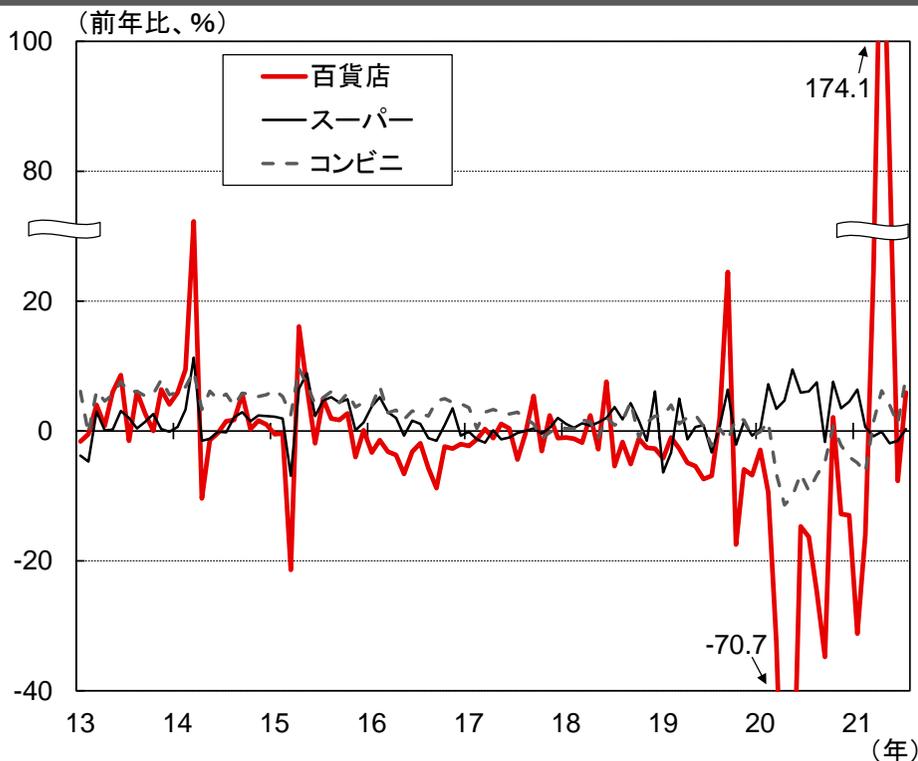


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)各県勤労統計、内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

個人消費・住宅投資

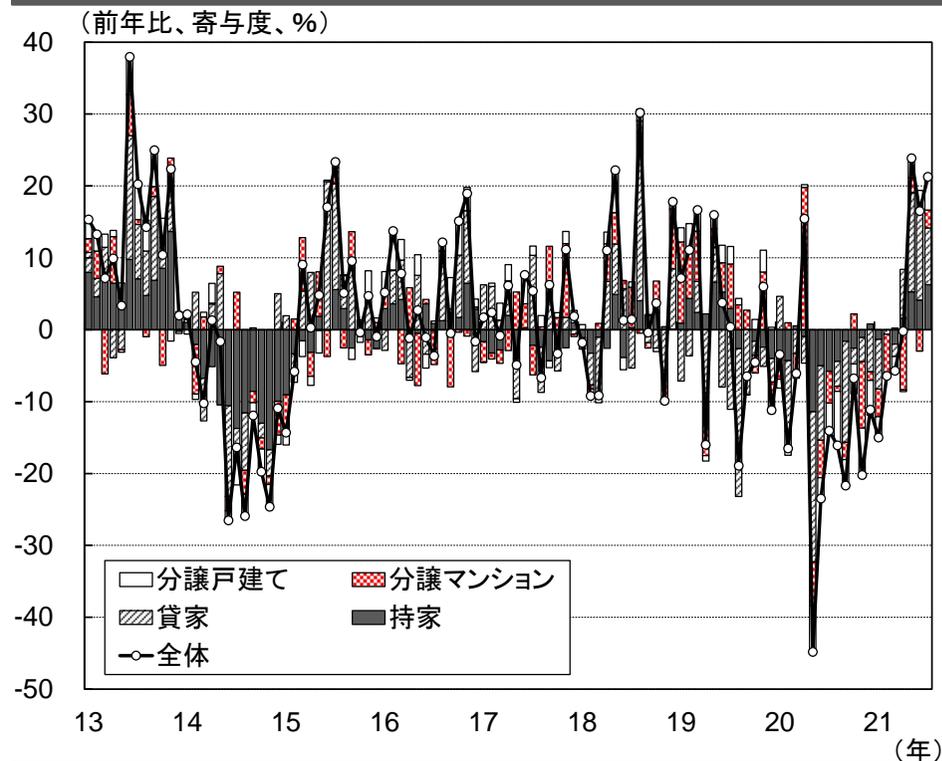
- 7月の小売主要3業態の販売額は、コンビニは前年比+8.3%、百貨店が同+5.9%、スーパーが同+0.3%といずれも増加。金額ではスーパーが1,513億円とコロナ禍前同月(1,359億円)を上回り、百貨店は404億円、コンビニは1,078億円と、それぞれコロナ禍前同月の9割程度、略同水準まで回復。
- 7月の新設住宅着工戸数は年率換算で9.7万戸、前年比で+21.1%と3ヵ月連続で増加。用途別では、分譲戸建て(同+25.9%)、分譲マンション(同+23.1%)、貸家(同+23.0%)、持家(同+16.7%)といずれも増加し、水準はコロナ禍前同月を4%程度上回った。

小売主要3業態の販売額(中部)



(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。
(資料)中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

新設住宅着工戸数(東海)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)国土交通省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

原油価格・円相場・株価

- 原油価格は、米南部に上陸したハリケーンの影響で減少した石油生産の回復の遅れや原油在庫の減少などから、足元1バレル70ドル台まで上昇。
- ドル円相場は、米国の消費者物価が予想を下回ったことで量的緩和縮小(テーパリング)の早期開始観測が弱まり、足元では1ドル109円台まで円高が進展。
- 日経平均株価は、新政権の経済対策や新型コロナウイルス感染者数減少に伴う経済正常化への期待などから、9月中旬に31年ぶりの高値を更新。

原油価格



(注)『原油価格』はWTI先物。
 (資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

ドル円相場・日経平均株価



(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名：株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室
〒460-8660 愛知県名古屋市中区錦2-20-15

照会先：中村 拓郎 e-mail：takurou_nakamura@mufg.jp